

2023年4月13日

報道関係各位

 SMBCコンシューマーファイナンス株式会社
 広報サステナビリティ推進部：岡田、平、有山
 (問合せ先:03-6887-1274)

金融リテラシーと家庭の金融教育に関する調査 2023

「金融リテラシー検定を受験したいと思う」高校生・大学生等の親の 29.5%

「金融リテラシー検定の受験を子どもに勧めたいと思う」高校生の親の 44.0%

子どもに教えたい金融リテラシー

高校生の親では「インターネット詐欺の種類・特徴」、大学生等の親では「税金、年金、社会保障等の種類・特徴」が 1 位

子どもへのお金の教育(金融教育)として行ったことがあるもの

1 位「子ども名義の預貯金口座を持たせる」2 位「子どもに買い物を体験させる」3 位「子ども用の財布を持たせる」

「子どもはお金の教育(金融教育)を受けたほうがよいと思う」86.4%

どのくらいの時期から受けるのがよいと思う？ 最多は「小学生」で 46.4%

子どもの奨学金を返済するのは誰の役割だと思う？ 「親」33.9%、「子」29.2%、「親と子の両方」36.2%

「詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある」高校生・大学生等の 8.1%

被害に遭ったことがあるトラブル TOP3 は「ネットオークション詐欺」「フィッシング詐欺」「ワンクリック詐欺」

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社(代表取締役社長:金子 良平、<https://www.smbc-cf.com/corporate/>、サービスブランド「プロミス」)は、2023年3月14日～15日の2日間、高校生または大学生等(大学生、短大生、専門学校生、浪人生)の子どもがいる40歳～59歳の男女を対象に「金融リテラシーと家庭の金融教育に関する調査2023」をインターネットリサーチで実施し、1,000名の有効サンプルの集計結果を公開しました。(調査協力会社:ネットエイジア株式会社)

- TOPICS -

【金融リテラシー検定について】 p.3～p.6

- ≫ 「金融リテラシー検定を受験したいと思う」高校生・大学生等の親の 29.5% …p.3
- ≫ 「金融リテラシー検定の受験を子どもに勧めたいと思う」高校生の親の 44.0% …p.3
- ≫ 「金融リテラシー検定」を受験したい理由
 「理解度を確認したい」「お金に関する知識が得られる」「金融リテラシーを身につけるきっかけになりそう」など …p.4
- ≫ 子どもに「金融リテラシー検定」の受験を勧めたい理由
 「勉強することで将来の役に立ちそう」「金融リテラシーを高めてほしい」
 「学校では学べないお金の知識を得られる」など …p.5
- ≫ 「金融リテラシー検定」の合格や合格のための学びにどのような効果やメリットがあれば、
 自身が受験をしたり、子どもに受験を勧めたりしたいと思う？ 1 位「お金の使い方・貯め方・増やし方に自信がつく」
 …p.6

【子どもへのお金の教育(金融教育)について】 p.7～p.14

- ≫ 子どもによく言うお金に関するセリフ
 1 位「無駄遣いしないように」2 位「お金の貸し借りはしないように」3 位「お金を稼ぐって大変なんだよ」 …p.7
- ≫ 子どもに教えることができる金融リテラシー 1 位「ローン・クレジットの特徴や留意点」 …p.8
- ≫ 子どもに教えたい金融リテラシー
 高校生の親では「インターネット詐欺の種類・特徴」、大学生等の親では「税金、年金、社会保障等の種類・特徴」が 1 位
 …p.8

- >> 子どもに最も身につけてほしいと思う金融リテラシー 1位「ライフプランの必要性・立て方」
 高校生の親では「税金、年金、社会保障等の種類・特徴」、大学生等の親では「家計管理の必要性・方法」が2位
 ……p.9
- >> 子どもと話をしたことがある“お金や経済に関連する話題”
 1位「お小遣い」2位「アルバイト代」3位「詐欺・お金のトラブル」 ……p.10
- >> 子どもへのお金の教育(金融教育)として行ったことがあるもの
 1位「子ども名義の預貯金口座を持たせる」2位「子どもに買い物を体験させる」3位「子ども用の財布を持たせる」
 ……p.11
- >> 「子どもはお金の教育(金融教育)を受けたほうがよいと思う」86.4%
 どのくらいの時期から受けるのがよいと思う? 最多は「小学生」で46.4% ……p.12
- >> 「子どもは奨学金を利用したことがある」高校生の親では17.3%、大学生等の親では32.9% ……p.13
- >> 「子どもが進学するにあたって、今後、奨学金を利用してほしい」32.6% ……p.13
- >> 子どもの奨学金を返済するのは誰の役割だと思う? 「親」33.9%、「子」29.2%、「親と子の両方」36.2% ……p.13
- >> 「子どものために教育ローンを利用したことがある」11.4%
 教育ローン利用者の31.6%が「子どもに教育ローンについて説明をしなかった」と回答 ……p.13

【お金の使い方・使いみちについて】 p.15～p.19

- >> 現時点の貯蓄額 平均は40代672万円、50代1,005万円 「貯蓄額が0円」は17.6% ……p.15
- >> 子どもに対し、社会人になるまでに貯蓄をしてもらいたいと思う金額 平均は266万円 ……p.15
- >> 「子どもに投資に興味を持ってもらいたい」66.1%
 興味を持ってもらいたい理由TOP3は
 「社会・経済の勉強になる」「資産形成に役立つ」「預貯金だけでは将来が不安」 ……p.16
- >> 高校生時代、どのようなことにお金をよく使っていた? 1位「飲食」2位「音楽」3位「ファッション・美容」 ……p.17
- >> イマドキの高校生がお金をよく使っていること 8人に1人が「推し活」と回答 ……p.17
- >> 「家庭で子どもにお小遣いを渡している」高校生の親の83.3%、お小遣いの渡し方は「定期的に現金で」がダントツ
 ……p.19

【マネートラブルの経験について】 p.20～p.21

- >> 詐欺などのトラブルの経験 「被害に遭ったことがある」18.3%、「被害に遭いそうになったことがある」28.6%
 被害に遭った・遭いそうになったトラブル 1位「マルチ商法・ねずみ講」 ……p.20
- >> 「詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある」高校生・大学生等の8.1%
 被害に遭ったことがあるトラブルTOP3は「ネットオークション詐欺」「フィッシング詐欺」「ワンクリック詐欺」 ……p.20

【子どもの金融行動について】 p.22～p.23

- >> 投資や借り入れなどの金融行動を子どもが行ってもよいと思う親の割合
 「株式投資」64.5%、「NISA」72.0%、「FX取引」33.0%、「暗号資産取引」22.5%、「クレジットカード利用」84.1%、
 「キャッシング」12.5%、「自動車・バイクローン利用」56.8%、「住宅ローン利用」79.9%、「生命保険加入」89.1%、
 「フリマアプリでの売買」73.7% ……p.22

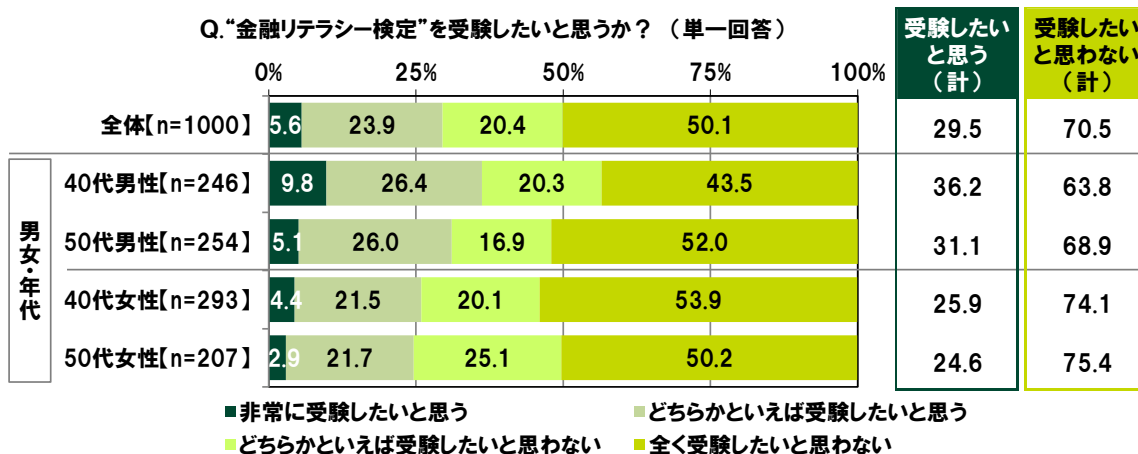
アンケート調査結果

【金融リテラシー検定について】

- ≫ 「金融リテラシー検定を受験したいと思う」高校生・大学生等の親の 29.5%
- ≫ 「金融リテラシー検定の受験を子どもに勧めたいと思う」高校生の親の 44.0%

高校生または大学生等(大学生、短大生、専門学校生、浪人生)の子どもがいる40歳～59歳の男女1,000名(全回答者)に対し、金融リテラシー検定について質問しました。金融リテラシー検定は、「計画的な資産形成や金融トラブルの回避等、生活のなかで実用的に活かせる金融知識(金融リテラシー)」の習得を目的として新しく創設された検定で、2023年4月から受験できるようになりました。

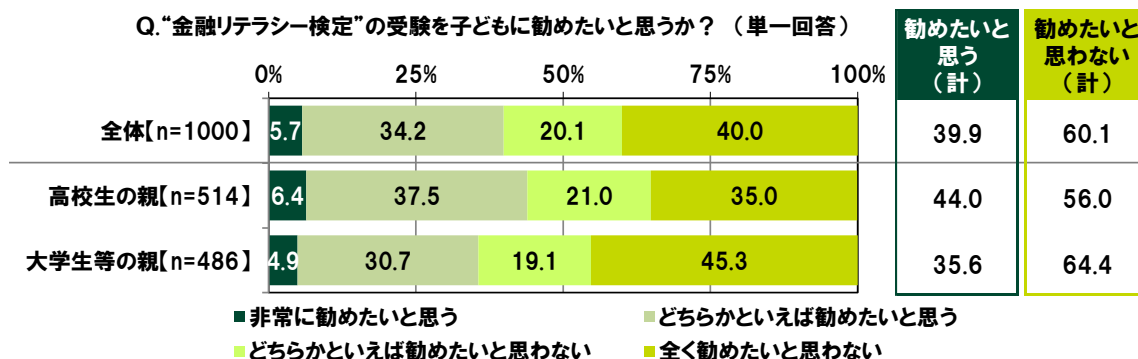
全回答者(1,000名)に、“金融リテラシー検定”を受験したいと思うか聞いたところ、「非常に受験したいと思う」が5.6%、「どちらかといえば受験したいと思う」が23.9%で、合計した『受験したいと思う(計)』は29.5%となり、親の約3人に1人が受験に興味を示している結果となりました。



また、“金融リテラシー検定”の受験を子どもに勧めたいと思うか聞いたところ、「非常に勧めたいと思う」が5.7%、「どちらかといえば勧めたいと思う」が34.2%で、合計した『勧めたいと思う(計)』は39.9%、「全く勧めたいと思わない」が40.0%、「どちらかといえば勧めたいと思わない」が20.1%で、合計した『勧めたいと思わない(計)』は60.1%となりました。

受験を勧める意向がある人の割合は、高校生の親44.0%、大学生等の親35.6%と、高校生の親のほうが8.4ポイント高くなりました(※)。

※子どもに関する質問では、「高校生～大学・短大・専門学校生、浪人生」の子ども(「高校生～大学・短大・専門学校生、浪人生」の子どもが複数名いる場合は学年が一番下の子ども)について回答。以下同様。



≫ “金融リテラシー検定”を受験したい理由

「理解度を確認したい」「お金に関する知識が得られる」「金融リテラシーを身につけるきっかけになりそう」など

“金融リテラシー検定”を受験したい、または受験したくないと思う理由を聞いたところ、≪受験したい理由≫では「理解度を確認したい」や「自分のマネーリテラシーレベルを知りたい」など理解度を測るための指標と考えている回答、「お金に関する知識が得られる」や「金融リテラシーを身につけるきっかけになりそう」など勉強を通じて金融リテラシーが向上することを期待する回答、「知識を得ることで今後に活かせると思う」や「普段の暮らしに活かそう」など日常生活での活用シーンを想定していることがうかがえる回答が多くありました。そのほか、「トラブルに巻き込まれないように学びたい」や「時代のニーズに合っていると思う」といった回答がありました。

他方、≪受験したくないと思う理由≫では「必要性を感じない」や「メリットを感じない」、「活用のイメージが湧かない」、「受験しても活用の場がない」、「受験しなくてもネットなどで学べる」など、意義を見出しにくいとする回答が多くありました。また、「実生活で経験するほうがよいと思う」や「仕事で知ることができている」など実際の経験で十分とする回答のほか、「時間の余裕がない」や「難しそう」、「金融や数字は苦手分野」といった回答がありました。

Q.“金融リテラシー検定”を受験したい、または受験したくないと思う理由は？（自由回答） ※回答を抜粋して表示

≪受験したい理由≫

- ・理解度を確認したい(男性・45歳～49歳)
- ・自分のマネーリテラシーレベルを知りたい(男性・40歳～44歳)
- ・お金に関する知識が得られる(女性・45歳～49歳)
- ・勉強することで、知らないことを知れそう(女性・45歳～49歳)
- ・これから必要になる知識だと思う(男性・50歳～54歳)
- ・金融リテラシーを身につけるきっかけになりそう(女性・45歳～49歳)
- ・知識を得ることで今後に活かせると思う(男性・50歳～54歳)
- ・普段の暮らしに活かそう(女性・45歳～49歳)
- ・基礎知識を習得できそう(女性・50歳～54歳)
- ・基礎知識として持っておきたい(女性・50歳～54歳)
- ・トラブルに巻き込まれないように学びたい(女性・55歳～59歳)
- ・時代のニーズに合っていると思う(女性・45歳～49歳)
- ・常に金融リテラシーを高めたいと思っている(女性・50歳～54歳)

≪受験したくない理由≫

- ・必要性を感じない(男性・50歳～54歳)
- ・メリットを感じない(男性・40歳～44歳)
- ・活用のイメージが湧かない(男性・45歳～49歳)
- ・受験しても活用の場がない(女性・45歳～49歳)
- ・受験しなくてもネットなどで学べる(女性・50歳～54歳)
- ・勉強はしてみたいが受験までは考えていない(女性・40歳～44歳)
- ・実生活で経験するほうがよいと思う(女性・50歳～54歳)
- ・仕事で知ることができている(男性・50歳～54歳)
- ・時間の余裕がない(女性・55歳～59歳)
- ・金融には興味がない(女性・40歳～44歳)
- ・難しそう(女性・55歳～59歳)
- ・金融や数字は苦手分野(女性・45歳～49歳)
- ・今から新しく始めようという気にならない(女性・40歳～44歳)

≫ 子どもに“金融リテラシー検定”の受験を勧めたい理由

「勉強することで将来の役に立ちそう」「金融リテラシーを高めてほしい」「学校では学べないお金の知識を得られる」など

子どもに“金融リテラシー検定”の受験を勧めたい、または勧めたいと思わない理由を聞いたところ、≪受験を勧めたいと思う理由≫では「勉強することで将来の役に立ちそう」や「独り立ちするうえで役に立つと思う」、「今後の生活で役立ちそう」、「若いうちから投資について学んでほしい」、「子どものときから学ぶべき内容だと思う」、「これからは金融リテラシーが必要」、「これからの時代には重要だと思う」など、勉強する内容に対して必要性を感じていることがうかがえる回答が多くありました。また、「お金についてもっと知ってほしい」や「金融リテラシーを高めてほしい」など金融リテラシーの向上を期待する回答のほか、「最初の社会勉強としてよさそう」や「学校では学べないお金の知識を得られる」、「ライフプラン作成の正確性が向上しそう」といった回答がありました。

他方、≪受験を勧めたいと思わない理由≫では「専攻している専門分野の勉強を頑張らせたい」や「学習することの優先順位が低い」、「受験を控えている」、「他の検定を優先してほしい」、「他の勉強をしてほしい」など、優先順位を理由とする回答が多くありました。また、「本人が自発的に考えて判断すればよい」や「本人が望むなら受験をすればよい」など子ども本人の自発性を尊重する回答のほか、「普段の生活で実践的に身につくもの」や「子どもにはまだ理解しきれないと思う」、「就職には役に立たないと思う」といった回答がありました。

Q.子どもに“金融リテラシー検定”の受験を勧めたい、または勧めたいと思わない理由は？（自由回答）※回答を抜粋して表示

≪受験を勧めたいと思う理由≫

- ・勉強することで将来の役に立ちそう(女性・高校1年生の親)
- ・独り立ちするうえで役に立つと思う(女性・高校3年生の親)
- ・今後の生活で役立ちそう(男性・高校3年生の親)
- ・若いうちから投資について学んでほしい(男性・大学生等の親)
- ・子どものときから学ぶべき内容だと思う(男性・高校1年生の親)
- ・これからは金融リテラシーが必要(女性・大学生等の親)
- ・これから必要な知識だと思う(女性・高校2年生の親)
- ・これからの時代には重要だと思う(男性・大学生等の親)
- ・お金についてもっと知ってほしい(女性・大学生等の親)
- ・金融リテラシーを高めてほしい(男性・高校2年生の親)
- ・最初の社会勉強としてよさそう(女性・大学生等の親)
- ・学校では学べないお金の知識を得られる(女性・大学生等の親)
- ・ライフプラン作成の正確性が向上しそう(男性・大学生等の親)

≪受験を勧めたいと思わない理由≫

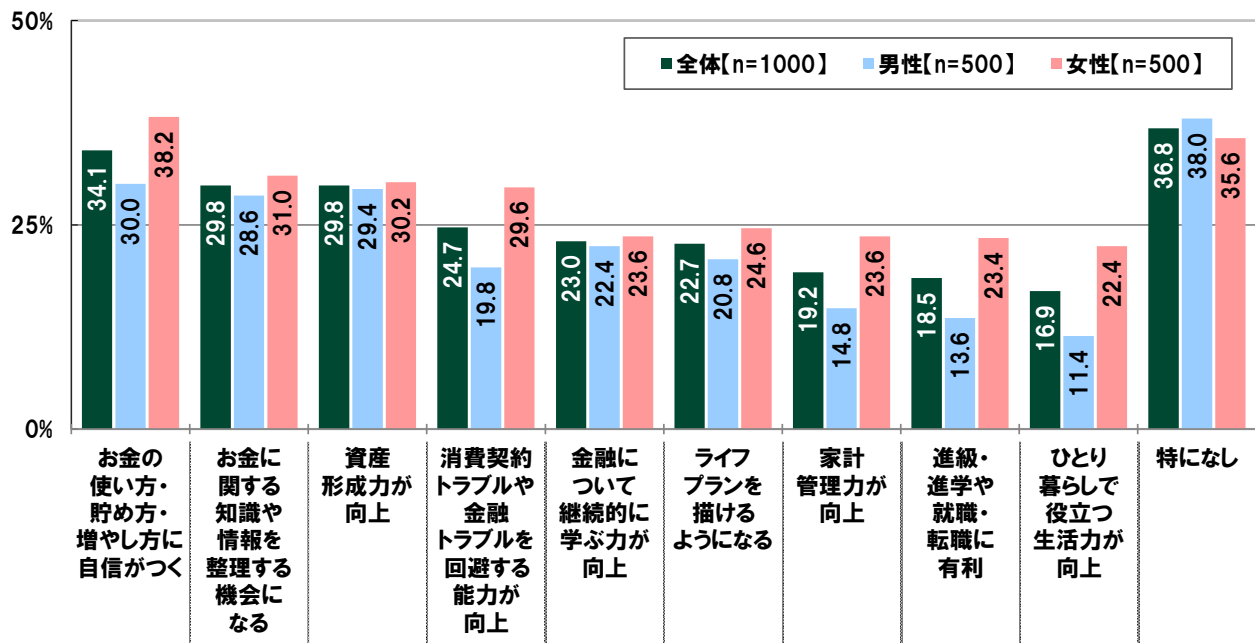
- ・知識は必要だが検定は必要だと思わない(男性・大学生等の親)
- ・専攻している専門分野の勉強を頑張らせたい(女性・大学生等の親)
- ・学習することの優先順位が低い(女性・高校3年生の親)
- ・受験を控えている(女性・高校2年生の親)
- ・他の検定を優先してほしい(女性・大学生等の親)
- ・他の勉強をしてほしい(女性・高校3年生の親)
- ・興味がなさそう(女性・大学生等の親)
- ・本人が自発的に考えて判断すればよい(男性・大学生等の親)
- ・本人が望むなら受験をすればよい(男性・高校2年生の親)
- ・よくわからないので勧められない(女性・大学生等の親)
- ・普段の生活で実践的に身につくもの(男性・高校1年生の親)
- ・子どもにはまだ理解しきれないと思う(女性・高校3年生の親)
- ・就職には役に立たないと思う(女性・高校3年生の親)

≫ “金融リテラシー検定”の合格や合格のための学びにどのような効果やメリットがあれば、
 自身が受験をしたり、子どもに受験を勧めたりしたいと思う？ 1位「お金の使い方・貯め方・増やし方に自信がつく」

また、“金融リテラシー検定”の合格や合格のための学びにどのような効果やメリットがあれば、自身が受験をしたり、子どもに受験を勧めたりしたいと思うか聞いたところ、「お金の使い方・貯め方・増やし方に自信がつく」(34.1%)が最も高くなりました。金融リテラシー検定の合格のための学習を通じて、金融リテラシーに自信を持てるようになるなら、受験意向や受験の推奨意向が高まる人が多いようです。次いで高くなったのは、「お金に関する知識や情報を整理する機会になる」「資産形成力が向上」(いずれも 29.8%)でした。

男女別にみると、女性では「ひとり暮らしで役立つ生活力が向上」が 22.4%と、男性(11.4%)と比べて 10 ポイント以上高くなりました。

Q.“金融リテラシー検定”の合格や合格のための学びにどのような効果やメリットがあれば、
 自身が受験をしたり、子どもに受験を勧めたりしたいと思うか？（複数回答）



【子どもへのお金の教育(金融教育)について】

» 子どもによく言うお金に関するセリフ

1位「無駄遣いしないように」2位「お金の貸し借りはしないように」3位「お金を稼ぐって大変なんだよ」

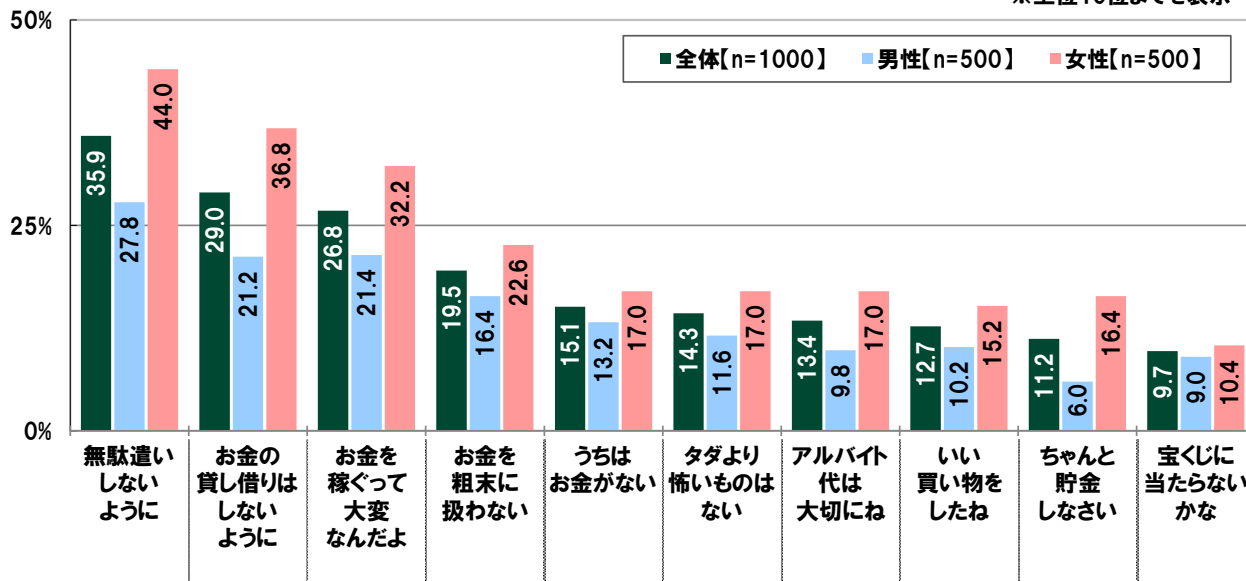
子どもへのお金の教育(金融教育)について質問しました。

まず、全回答者(1,000名)に、子どもによく言う(または子どもの前でよく言う)お金に関するセリフを聞いたところ、「無駄遣いしないように」(35.9%)が最も高くなりました。必要のないものを買ったり衝動買いをしたりせず、使いみちをよく考えてからお金を使うよう諭している人が多いようです。次いで高くなったのは、「お金の貸し借りはしないように」(29.0%)、「お金を稼ぐって大変なんだよ」(26.8%)でした。

男女別にみると、女性では「無駄遣いしないように」が44.0%、「お金の貸し借りはしないように」が36.8%と、男性(順に27.8%、21.2%)と比べて15ポイント以上高くなりました。

Q.子どもによく言う(または子どもの前でよく言う)お金に関するセリフは？(複数回答)

※上位10位までを表示



≫ 子どもに教えることができる金融リテラシー 1位「ローン・クレジットの特徴や留意点」

≫ 子どもに教えたい金融リテラシー

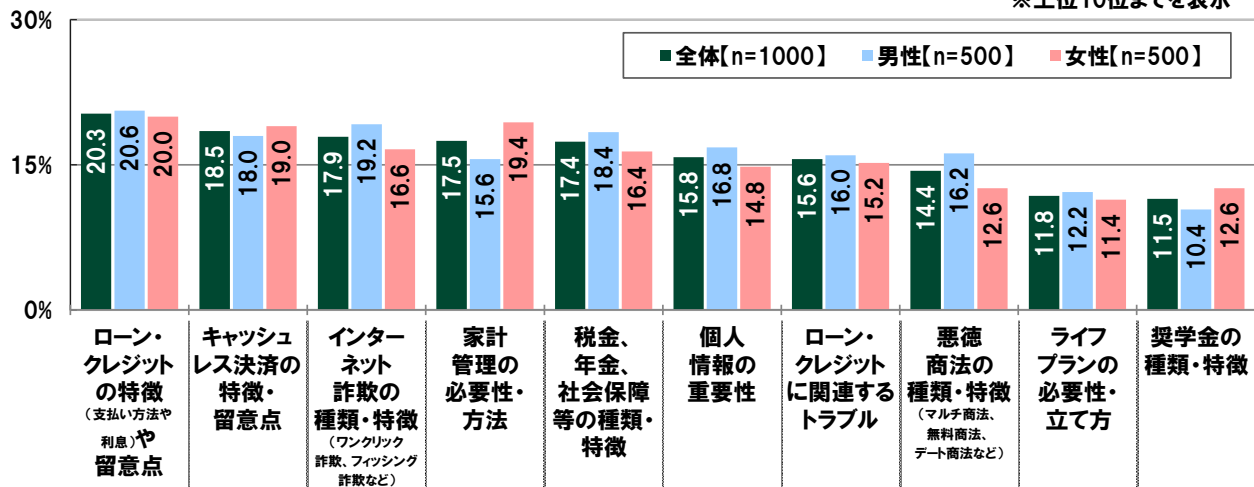
高校生の親では「インターネット詐欺の種類・特徴」、大学生等の親では「税金、年金、社会保障等の種類・特徴」が1位

全回答者(1,000名)に、子どもに教えることができる金融リテラシーについて聞いたところ、「ローン・クレジットの特徴(支払い方法や利息)や留意点」(20.3%)が最も高くなり、「キャッシュレス決済の特徴・留意点」(18.5%)、「インターネット詐欺の種類・特徴(ワンクリック詐欺、フィッシング詐欺など)」(17.9%)が続きました。

男女別にみると、男性では「インターネット詐欺の種類・特徴(ワンクリック詐欺、フィッシング詐欺など)」(19.2%)、女性では「家計管理の必要性・方法」(19.4%)が2位でした。

Q.子どもに教えることができる金融リテラシーの内容は？(複数回答)

※上位10位までを表示

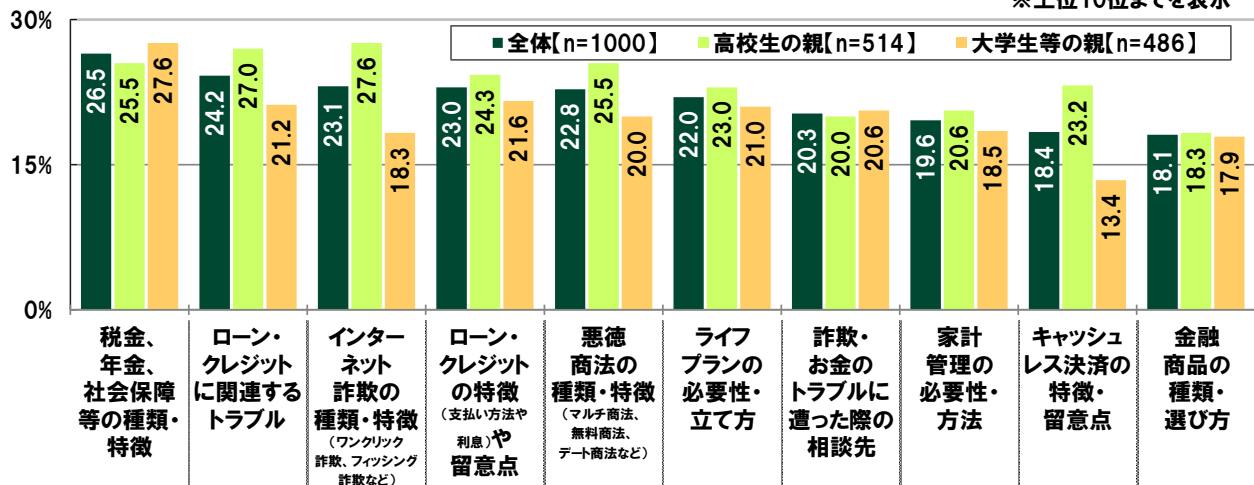


子どもに教えたい金融リテラシーの内容を聞いたところ、「税金、年金、社会保障等の種類・特徴」(26.5%)が最も高くなりました。税金や年金、社会保障といった暮らしに深く関わる知識について学ぶことの必要性や重要性を直接伝えたいと思う人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「ローン・クレジットに関連するトラブル」(24.2%)、「インターネット詐欺の種類・特徴(ワンクリック詐欺、フィッシング詐欺など)」(23.1%)でした。

高校生の親では「インターネット詐欺の種類・特徴(ワンクリック詐欺、フィッシング詐欺など)」(27.6%)、大学生等の親では「税金、年金、社会保障等の種類・特徴」(27.6%)が1位でした。

Q.子どもに教えたい金融リテラシーの内容は？(複数回答)

※上位10位までを表示



≫ 子どもに最も身につけてほしいと思う金融リテラシー 1位「ライフプランの必要性・立て方」

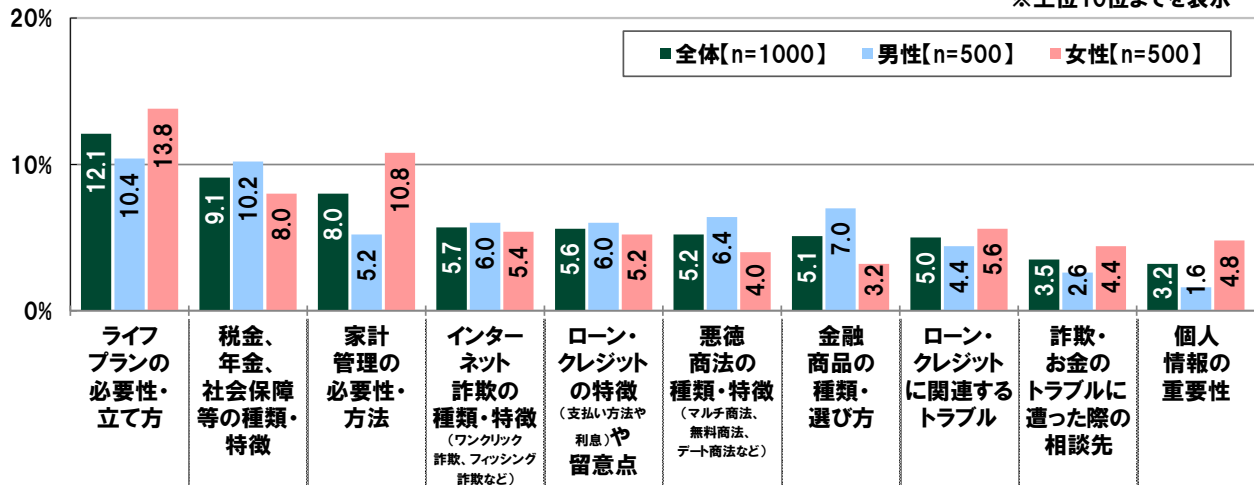
高校生の親では「税金、年金、社会保障等の種類・特徴」、大学生等の親では「家計管理の必要性・方法」が2位

また、子どもに最も身につけてほしいと思う金融リテラシーについて聞いたところ、「ライフプランの必要性・立て方」(12.1%)が最も高くなりました。“人生 100 年時代”といわれるなか、将来に備えライフプランをしっかりと立てられる力を身につけることが大切だと考えている人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「税金、年金、社会保障等の種類・特徴」(9.1%)、「家計管理の必要性・方法」(8.0%)でした。

男女別にみると、男性では「税金、年金、社会保障等の種類・特徴」(10.2%)、女性では「家計管理の必要性・方法」(10.8%)が2位でした。

Q.子どもに最も身につけてほしいと思う金融リテラシーの内容は？（単一回答）

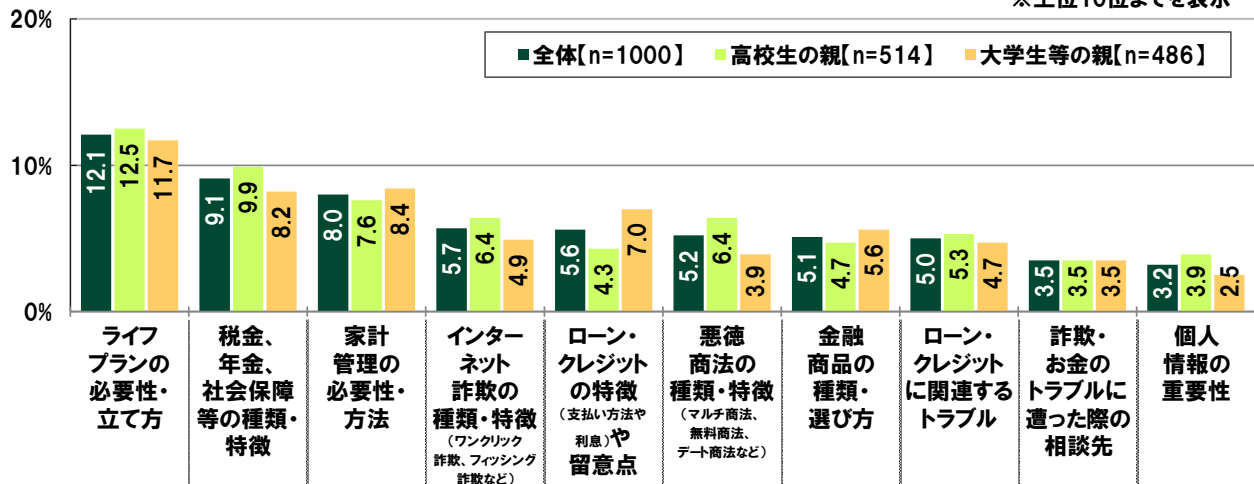
※上位10位までを表示



高校生の親では「税金、年金、社会保障等の種類・特徴」(9.9%)、大学生等の親では「家計管理の必要性・方法」(8.4%)が2位でした。

Q.子どもに最も身につけてほしいと思う金融リテラシーの内容は？（単一回答）

※上位10位までを表示



≫ 子どもと話をしたことがある“お金や経済に関連する話題”

1位「お小遣い」2位「アルバイト代」3位「詐欺・お金のトラブル」

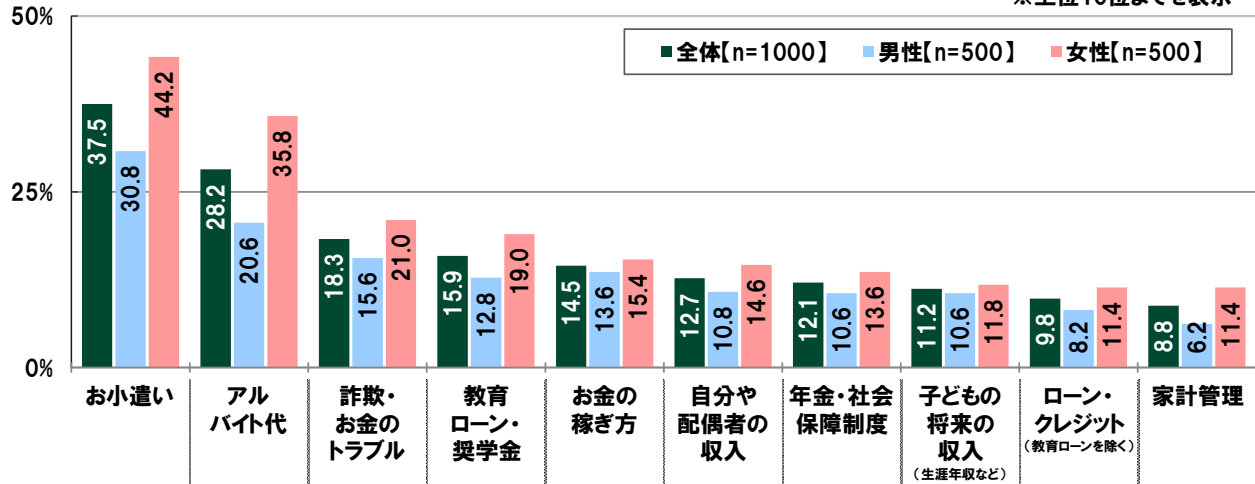
お金や経済について子どもとどのような話をしている家庭が多いのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、子どもと話をしたことがある“お金や経済に関連する話題”を聞いたところ、「お小遣い」(37.5%)が最も高くなり、「アルバイト代」(28.2%)、「詐欺・お金のトラブル」(18.3%)が続きました。

男女別にみると、女性では「アルバイト代」が35.8%と、男性(20.6%)と比べて15ポイント以上高くなりました。

Q.子どもと話をしたことがある“お金や経済に関連する話題”は？（複数回答）

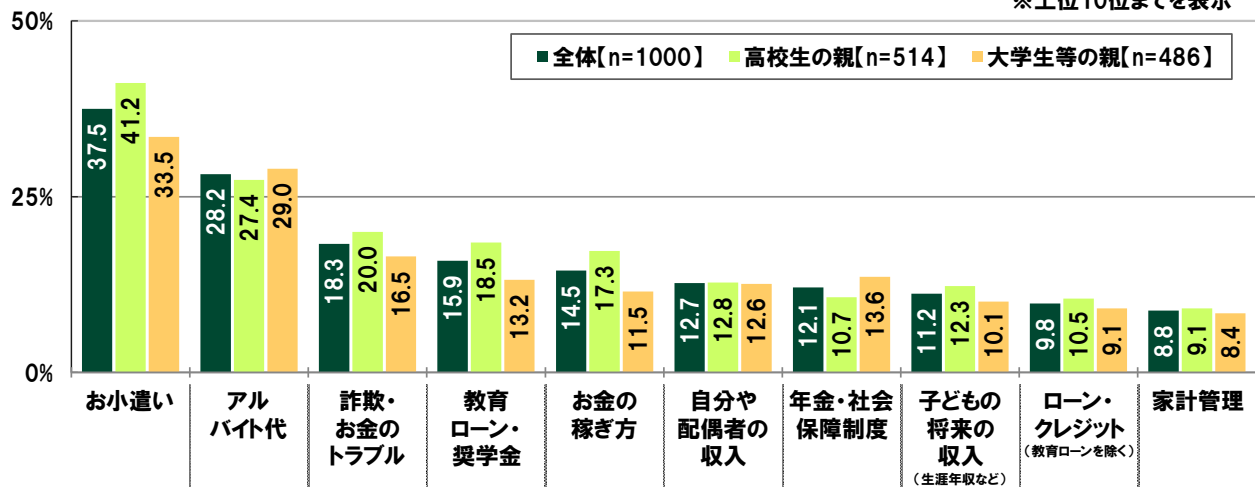
※上位10位までを表示



高校生の親では「お小遣い」が41.2%、「教育ローン・奨学金」が18.5%、「お金の稼ぎ方」が17.3%と、大学生等の親(順に33.5%、13.2%、11.5%)と比べて5ポイント以上高くなりました。

Q.子どもと話をしたことがある“お金や経済に関連する話題”は？（複数回答）

※上位10位までを表示



≫ 子どもへのお金の教育(金融教育)として行ったことがあるもの

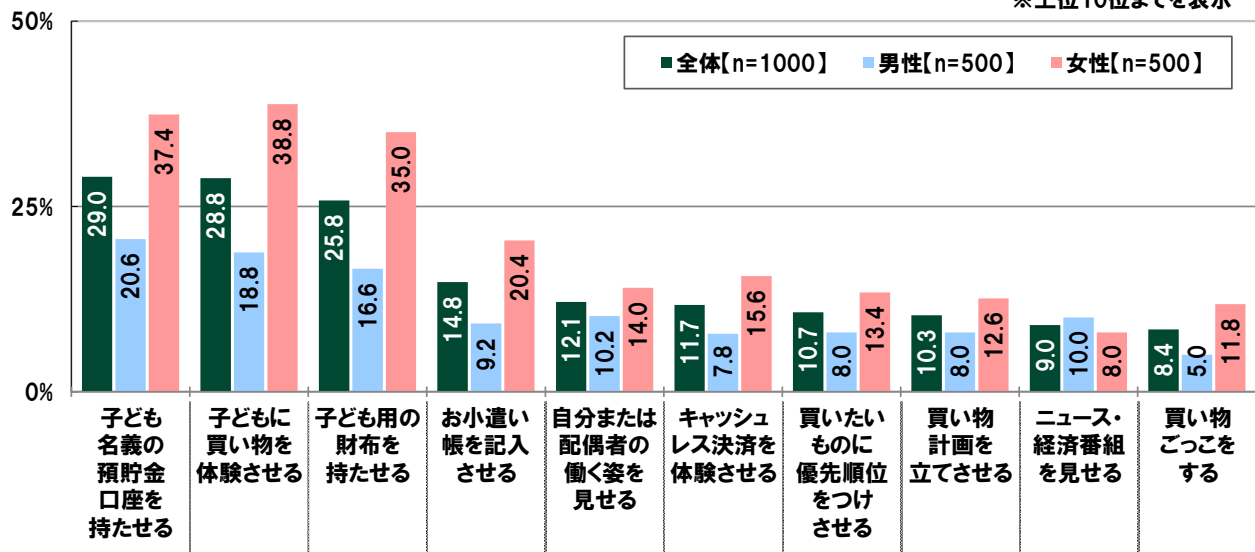
1位「子ども名義の預貯金口座を持たせる」2位「子どもに買い物を体験させる」3位「子ども用の財布を持たせる」

全回答者(1,000名)に、子どもへのお金の教育(金融教育)として行ったことがあるものを聞いたところ、「子ども名義の預貯金口座を持たせる」(29.0%)が最も高くなりました。自分名義の口座を持つことで、お金に関する意識が高まり、金融リテラシーが向上すると考えた人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「子どもに買い物を体験させる」(28.8%)、「子ども用の財布を持たせる」(25.8%)でした。

男女別にみると、男性では「子ども名義の預貯金口座を持たせる」(20.6%)、女性では「子どもに買い物を体験させる」(38.8%)が1位でした。

Q.子どもへのお金の教育(金融教育)として行ったことがあるものは？(複数回答)

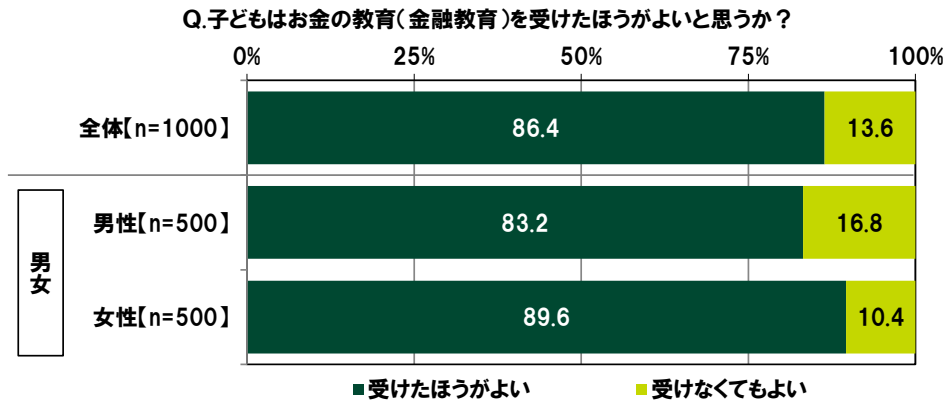
※上位10位までを表示



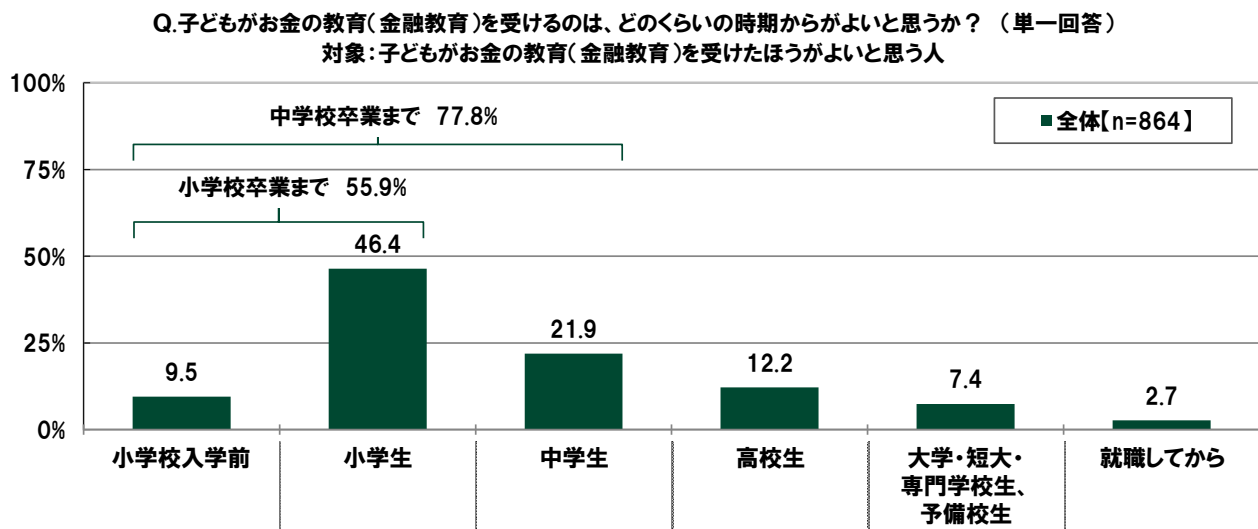
≫ 「子どもはお金の教育(金融教育)を受けたほうがよいと思う」86.4%
 どのくらいの時期から受けるのがよいと思う? 最多は「小学生」で46.4%

全回答者(1,000名)に、子どもはお金の教育(金融教育)を受けたほうがよいと思うか聞いたところ、「受けたい」は86.4%、「受けなくてもよい」は13.6%となりました。親の大多数が、子どもにとって金融教育は欠かせないと考えていることがわかりました。

男女別にみると、受けたいと考えている人の割合は、女性では89.6%と、男性(83.2%)と比べて6.4ポイント高くなりました。



子どもがお金の教育(金融教育)を受けたほうがよいと思う人(864名)に、子どもがお金の教育(金融教育)を受けるのは、どのくらいの時期からがよいと思うか聞いたところ、「小学校入学前」が9.5%、「小学生」が46.4%、「中学生」が21.9%、「高校生」が12.2%、「大学・短大・専門学校生、予備校生」が7.4%、「就職してから」が2.7%となりました。累積比率をみると、『小学校卒業まで』は55.9%、『中学校卒業まで』は77.8%となりました。親の半数は、子どもが小学校を卒業するまでにはお金の教育を受け始めてほしいと考えているようです。



- ≫ 「子どもは奨学金を利用したことがある」高校生の親では 17.3%、大学生等の親では 32.9%
 - ≫ 「子どもが進学するにあたって、今後、奨学金を利用してほしい」32.6%
 - ≫ 子どもの奨学金を返済するのは誰の役割だと思う？ 「親」33.9%、「子」29.2%、「親と子の両方」36.2%
 - ≫ 「子どものために教育ローンを利用したことがある」11.4%
- 教育ローン利用者の 31.6%が「子どもに教育ローンについて説明をしなかった」と回答

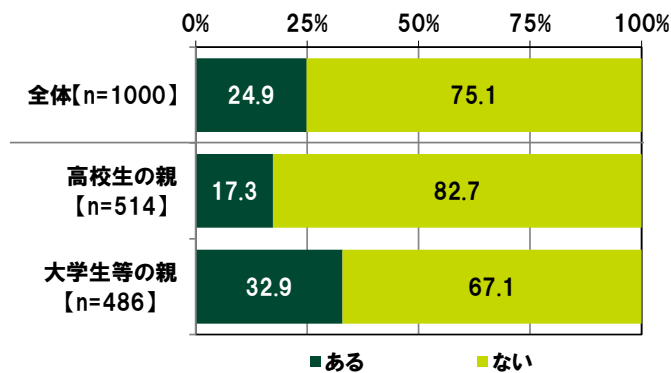
奨学金と教育ローンについて質問しました。

全回答者(1,000名)に、子どもは奨学金を利用したことがあるか聞いたところ、「ある」は 24.9%、「ない」は 75.1%となりました。

子どもが奨学金を利用したことがある割合は、大学生等の親では 32.9%と、高校生の親(17.3%)と比べて 15.6ポイント高くなりました。

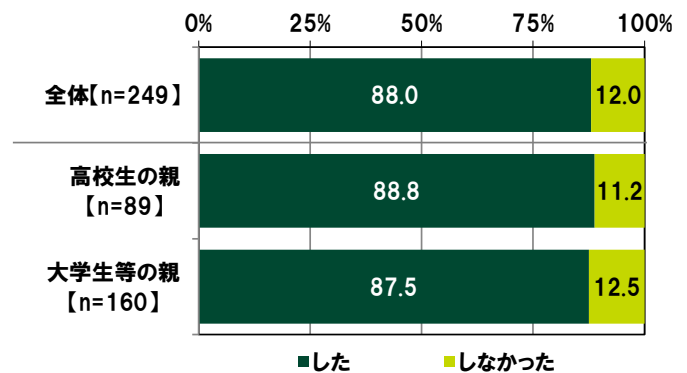
子どもが奨学金を利用したことがある人(249名)に、子どもに奨学金について説明をしたか聞いたところ、「した」は 88.0%、「しなかった」は 12.0%となりました。

Q.子どもは奨学金を利用したことがあるか？（単一回答）



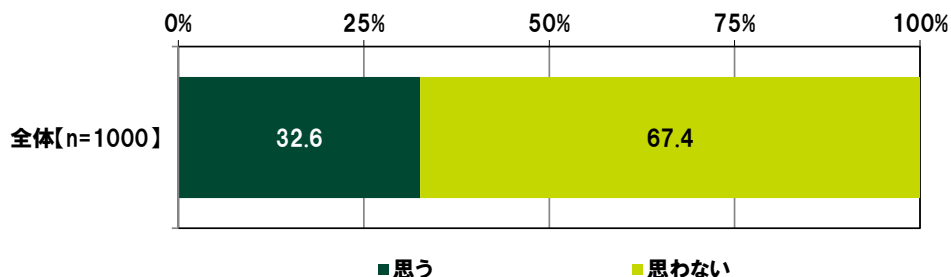
Q.子どもに奨学金について説明をしたか？（単一回答）

対象：子どもが奨学金を利用したことがある人



また、全回答者(1,000名)に、子どもが進学するにあたって、今後、奨学金を利用してほしいと思うか聞いたところ、「思う」は 32.6%、「思わない」は 67.4%となりました。

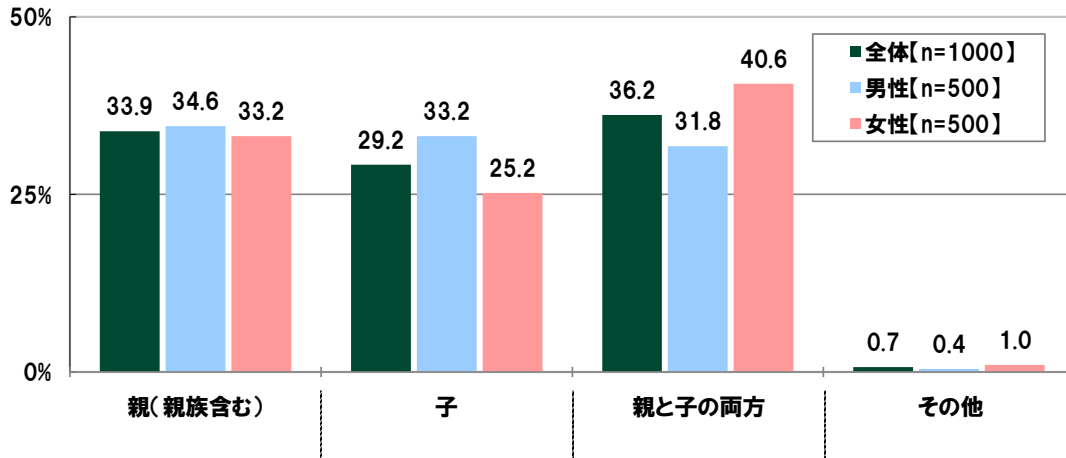
Q.子どもが進学するにあたって、今後、奨学金を利用してほしいと思うか？（単一回答）



子どもの奨学金を返済するのは誰の役割だと思うか聞いたところ、「親(親族含む)」は33.9%、「子」は29.2%、「親と子の両方」は36.2%となりました。

男女別にみると、男性では「親(親族含む)」(34.6%)、女性では「親と子の両方」(40.6%)が最も高くなりました。

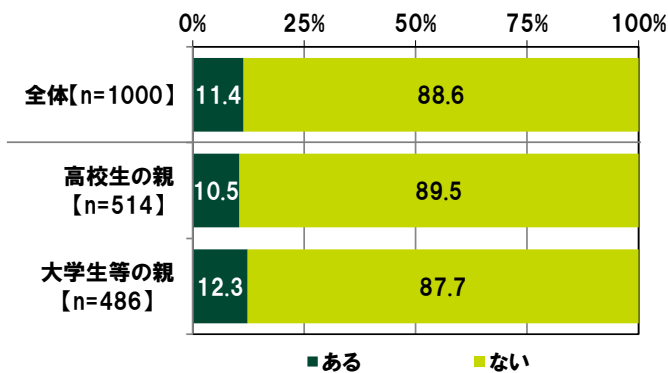
Q.子どもの奨学金を返済するのは誰の役割だと思うか？(単一回答)



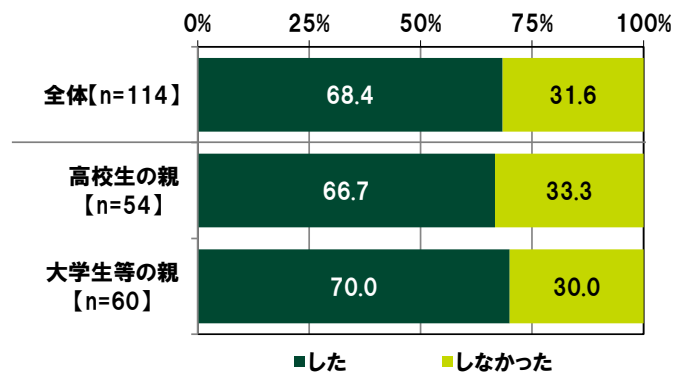
全回答者(1,000名)に、子どものために教育ローンを利用したことがあるか聞いたところ、「ある」は11.4%、「ない」は88.6%となりました。

子どものために教育ローンを利用したことがある人(114名)に、子どもに教育ローンについて説明をしたか聞いたところ、「した」は68.4%、「しなかった」は31.6%となりました。

Q.子どものために教育ローンを利用したことがあるか？(単一回答)



Q.子どもに教育ローンについて説明をしたか？(単一回答)
対象:子どものために教育ローンを利用したことがある人



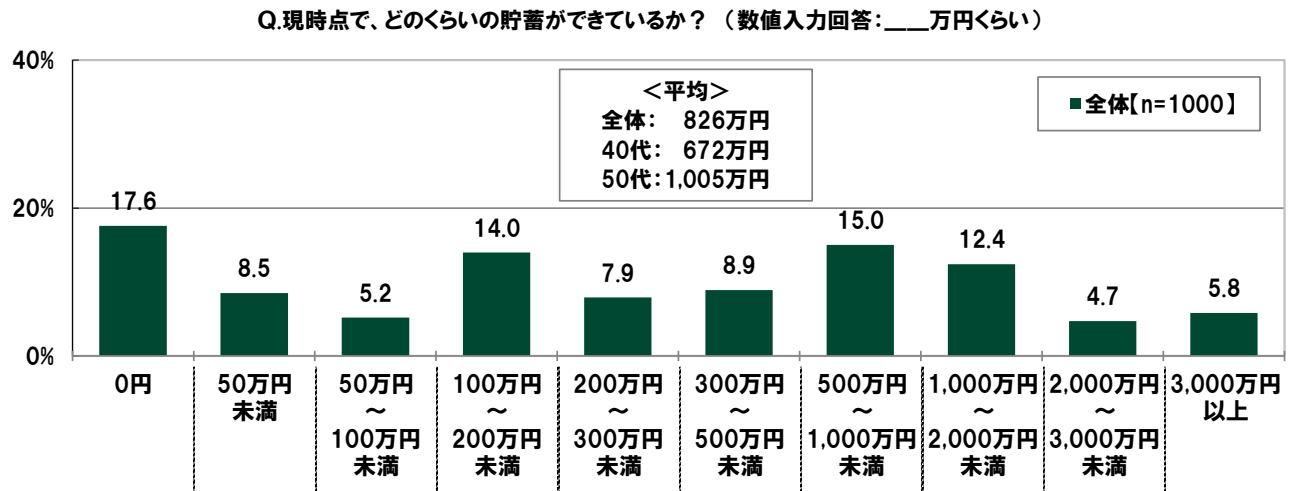
【お金の使い方・使いみちについて】

- ▶ 現時点の貯蓄額 平均は 40 代 672 万円、50 代 1,005 万円 「貯蓄額が 0 円」は 17.6%
- ▶ 子どもに対し、社会人になるまでに貯蓄をしてもらいたいと思う金額 平均は 266 万円

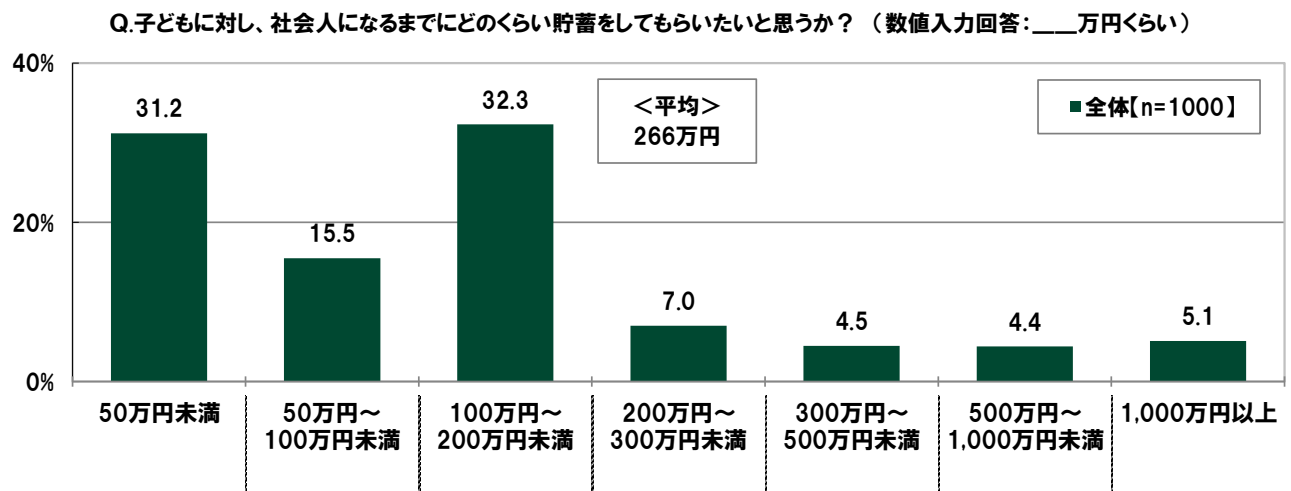
貯蓄や投資、消費などお金の使い方・使いみちについて質問しました。

全回答者(1,000名)に、現時点で、どのくらいの貯蓄ができているか聞いたところ、「100万円～200万円未満」(14.0%)や「500万円～1,000万円未満」(15.0%)、「1,000万円～2,000万円未満」(12.4%)などに回答が分かれ、平均は 826 万円でした。また、「0円」は 17.6%となりました。

年代別にみると、現時点の貯蓄額の平均は、40代では 672 万円、50代では 1,005 万円でした。



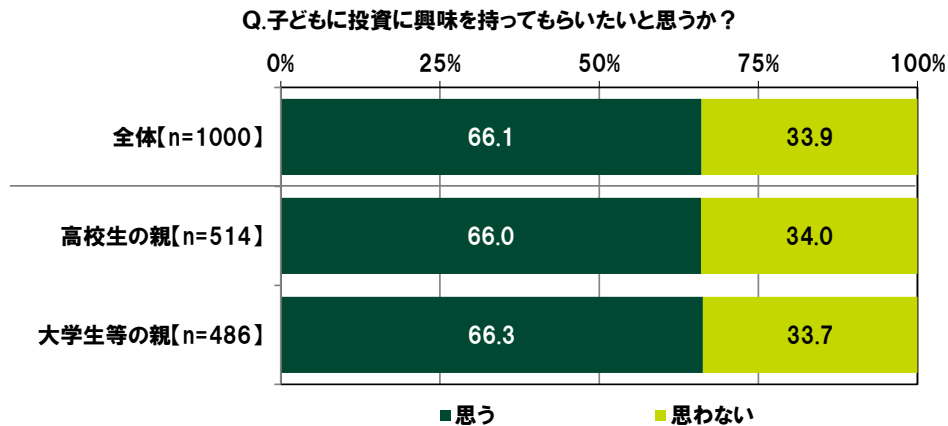
子どもに対し、社会人になるまでにどのくらい貯蓄をしてもらいたいと思うか聞いたところ、「50万円未満」(31.2%)や「100万円～200万円未満」(32.3%)に回答が分かれ、平均は 266 万円でした。



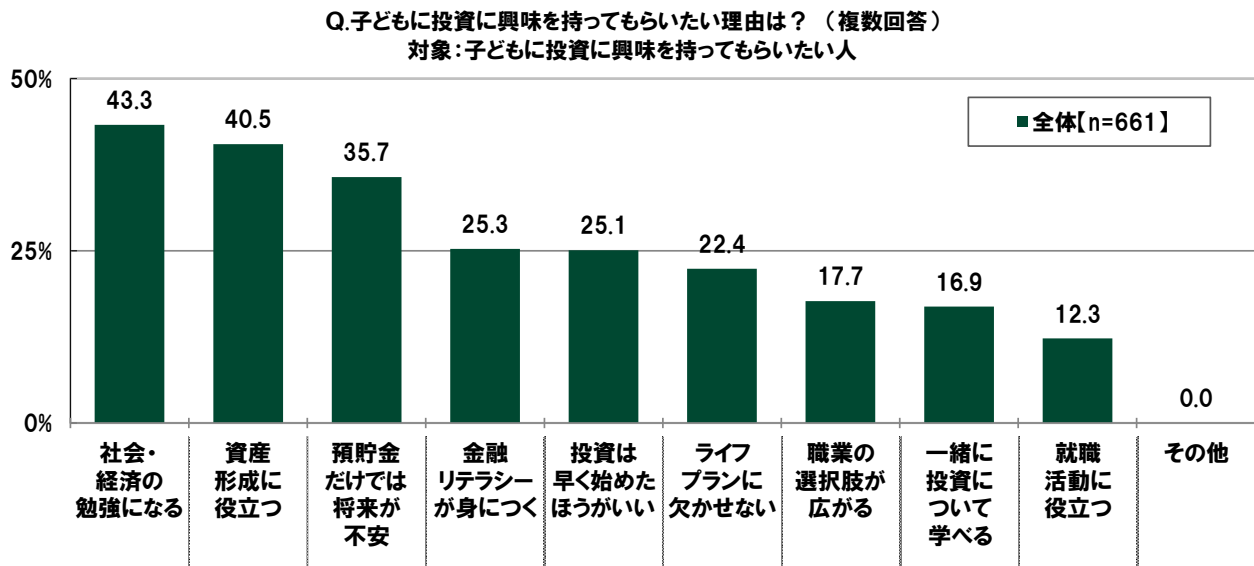
≫ 「子どもに投資に興味を持ってもらいたい」66.1%

興味を持ってもらいたい理由 TOP3 は「社会・経済の勉強になる」「資産形成に役立つ」「預貯金だけでは将来が不安」

次に、子どもに投資に興味を持ってもらいたいと思うか聞いたところ、「思う」は 66.1%、「思わない」は 33.9%となりました。



子どもに投資に興味を持ってもらいたい人(661名)に、投資に興味を持ってもらいたい理由を聞いたところ、「社会・経済の勉強になる」(43.3%)が最も高くなりました。投資に関する情報や知識を通じて、世の中の動きや経済情勢などについての理解が深まると考えている人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「資産形成に役立つ」(40.5%)、「預貯金だけでは将来が不安」(35.7%)でした。



- ≫ 高校生時代、どのようなことにお金をよく使っていた？ 1位「飲食」2位「音楽」3位「ファッション・美容」
- ≫ イマドキの高校生がお金をよく使っていること 8人に1人が「推し活」と回答

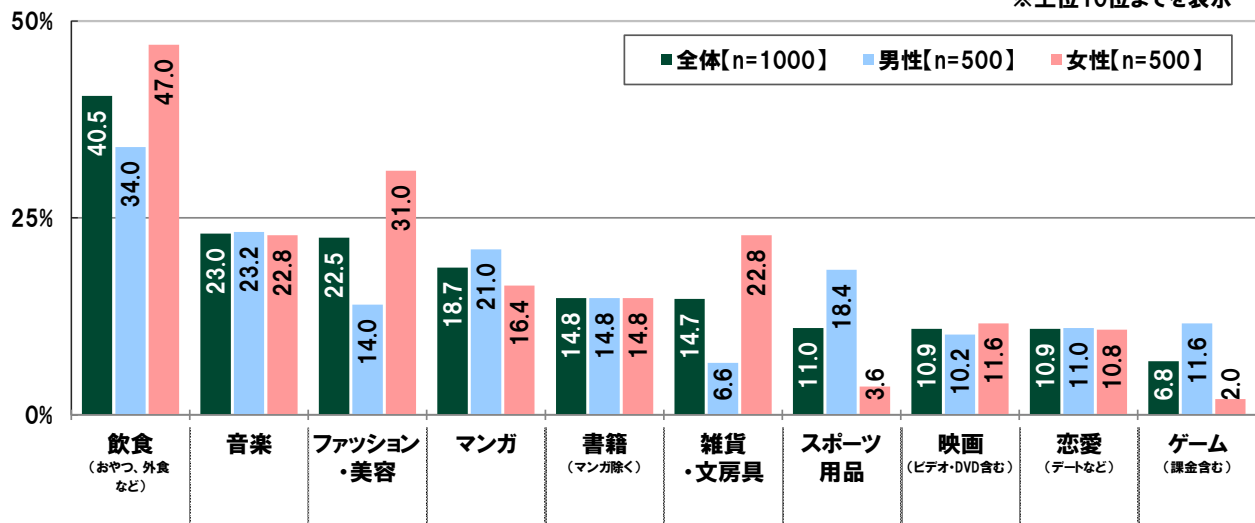
高校生時代、どのようなことにお金を使っていた人が多いのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、高校生時代に、どのようなことにお金をよく使っていたか聞いたところ、「飲食(おやつ、外食など)」(40.5%)が突出して高くなりました。高校生のときに、仲の良い友人と食事をしたり、人気のスイーツなどを食べたりしていた人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「音楽」(23.0%)、「ファッション・美容」(22.5%)でした。

男女別にみると、男性では「音楽」(23.2%)が2位、「マンガ」(21.0%)が3位、女性では「ファッション・美容」(31.0%)が2位、「音楽」と「雑貨・文房具」(いずれも22.8%)が3位でした。

Q.高校生時代に、どのようなことにお金をよく使っていたか？(複数回答)

※上位10位までを表示

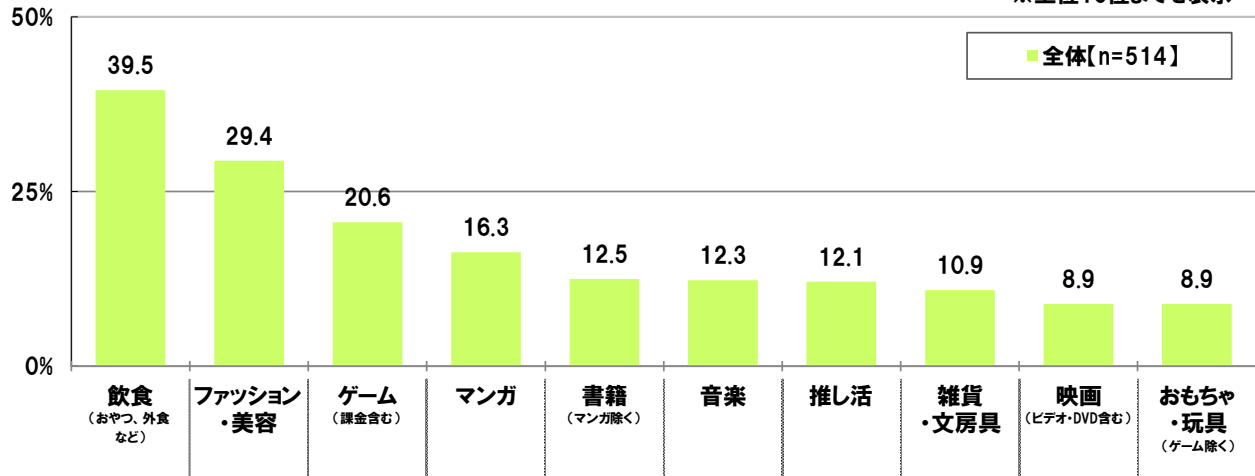


高校生の親(514名)に、子どもは現在どのようなことにお金をよく使っているか聞いたところ、「飲食(おやつ、外食など)」(39.5%)が最も高くなり、「ファッション・美容」(29.4%)、「ゲーム(課金含む)」(20.6%)が続きました。また、「推し活」(12.1%)は8人に1人の割合となりました。

Q.子どもは現在どのようなことにお金をよく使っているか？(複数回答)

対象:高校生の親

※上位10位までを表示

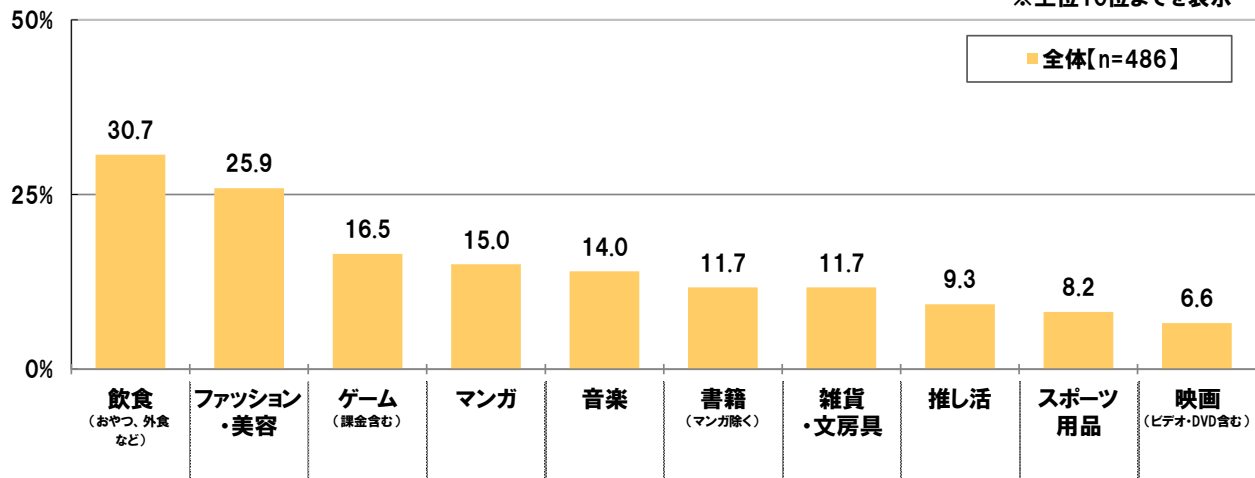


大学生等の親(486名)に、子どもは高校生のときにどのようなことにお金をよく使っていたか聞いたところ、「飲食(おやつ、外食など)」(30.7%)が最も高くなり、「ファッション・美容」(25.9%)、「ゲーム(課金含む)」(16.5%)が続きました。

Q.子どもは高校生のときにどのようなことにお金をよく使っていたか？(複数回答)

対象:大学生等の親

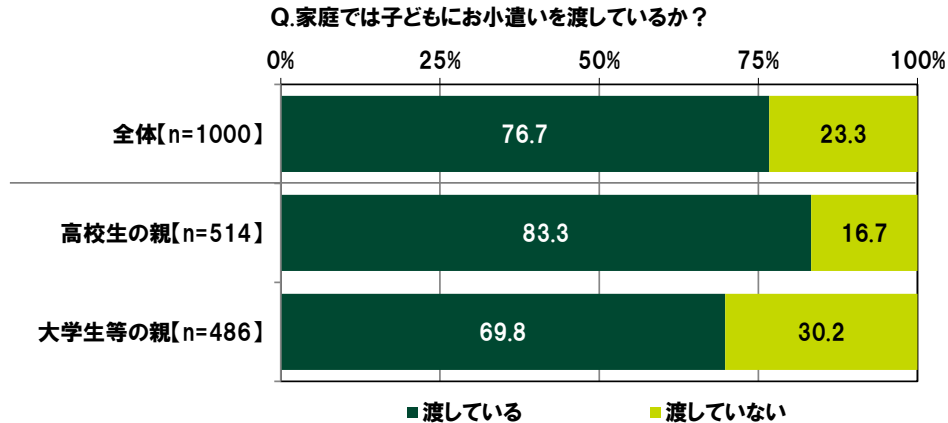
※上位10位までを表示



≫ 「家庭で子どもにお小遣いを渡している」高校生の親の 83.3%、お小遣いの渡し方は「定期的に現金で」がダントツ

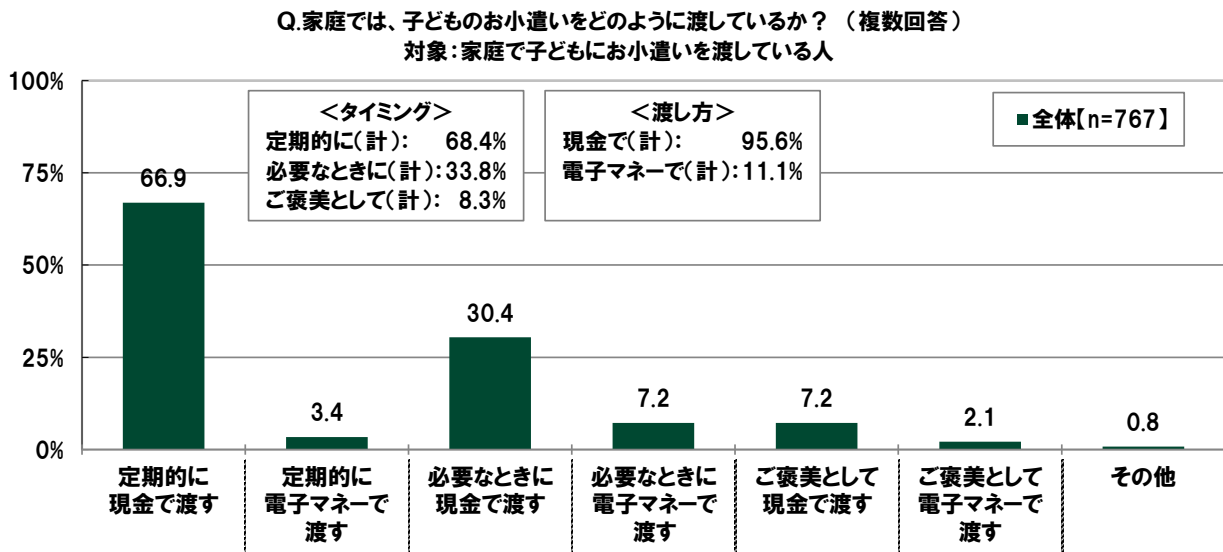
全回答者(1,000名)に、家庭では子どもにお小遣いを渡しているか聞いたところ、「渡している」は 76.7%、「渡していない」は 23.3%となりました。

お小遣いを渡している人の割合は、高校生の親では 83.3%、大学生等の親では 69.8%でした。



家庭で子どもにお小遣いを渡している人(767名)に、お小遣いをどのように渡しているか聞いたところ、「定期的に現金で渡す」(66.9%)が突出して高くなりました。決まったタイミングでお小遣いとして現金を渡している家庭が多いようです。次いで高くなったのは、「必要なときに現金で渡す」(30.4%)でした。

渡すタイミングをみると、『定期的に(計)』は 68.4%、『必要なときに(計)』は 33.8%、『ご褒美として(計)』は 8.3%となりました。また、渡し方をみると、『現金で(計)』は 95.6%、『電子マネーで(計)』は 11.1%となりました。



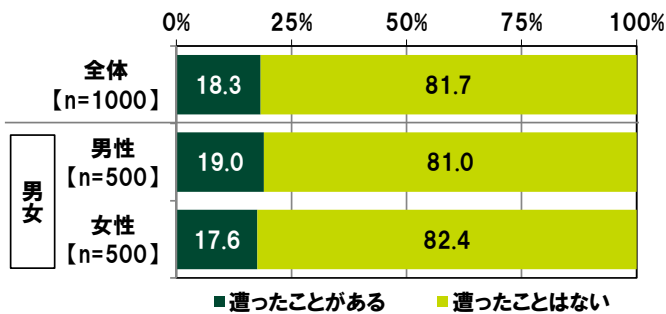
【マネートラブルの経験について】

- ≫ 詐欺などのトラブルの経験「被害に遭ったことがある」18.3%、「被害に遭いそうになったことがある」28.6%
被害に遭った・遭いそうになったトラブル 1位「マルチ商法・ねずみ講」
- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある」高校生・大学生等の8.1%
被害に遭ったことがあるトラブル TOP3 は「ネットオークション詐欺」「フィッシング詐欺」「ワンクリック詐欺」

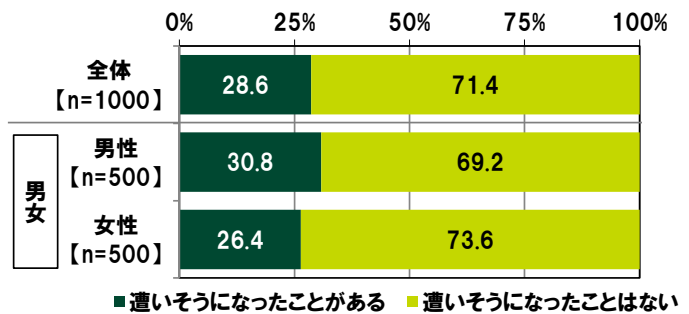
詐欺などのお金に関するトラブルについて質問しました。

全回答者(1,000名)に、これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭った経験を聞いたところ、「遭ったことがある」は18.3%、「遭いそうになったことがある」は28.6%となりました。

Q.これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがあるか？

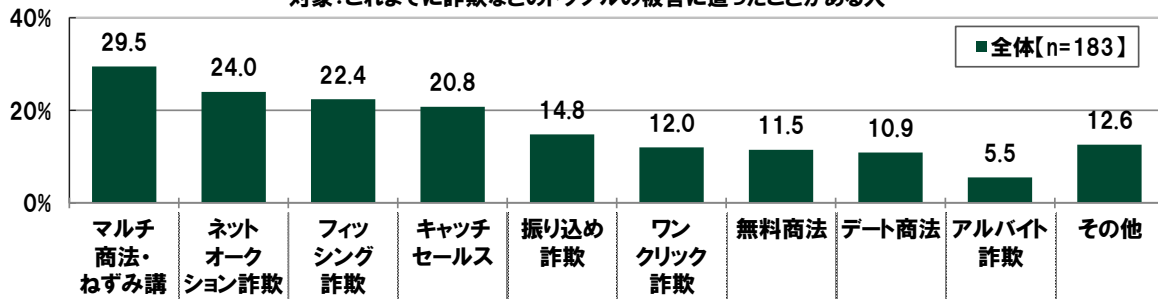
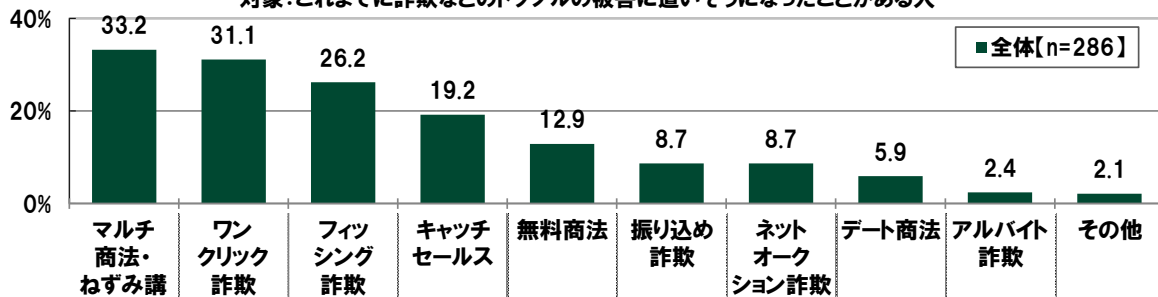


Q.これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがあるか？



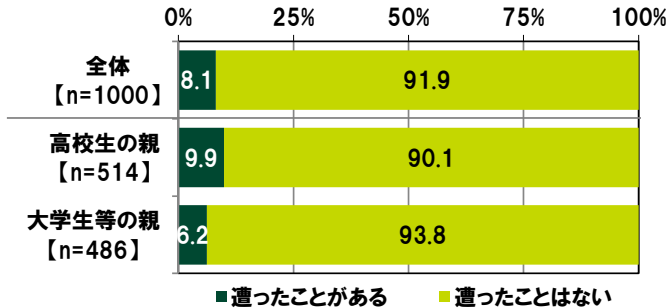
これまでに詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある人(183名)に、被害に遭ったことがあるトラブルを聞いたところ、「マルチ商法・ねずみ講」(29.5%)が最も高くなり、「ネットオークション詐欺」(24.0%)、「フィッシング詐欺」(22.4%)が続きました。

また、これまでに詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある人(286名)に、被害に遭いそうになったことがあるトラブルを聞いたところ、「マルチ商法・ねずみ講」(33.2%)が最も高くなり、「ワンクリック詐欺」(31.1%)、「フィッシング詐欺」(26.2%)が続きました。

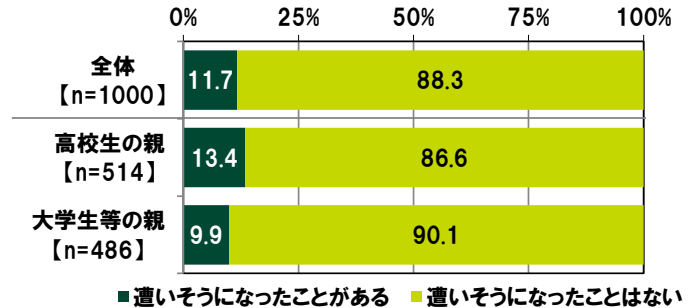
 Q.これまでに被害に遭ったことがあるトラブルは？(複数回答)
 対象:これまでに詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある人

 Q.これまでに被害に遭いそうになったことがあるトラブルは？(複数回答)
 対象:これまでに詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある人


次に、全回答者(1,000名)に、これまでに、子どもが詐欺などのトラブルの被害に遭った経験を聞いたところ、「遭ったことがある」は8.1%、「遭いそうになったことがある」は11.7%となりました。

Q.これまでに、子どもが詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがあるか？



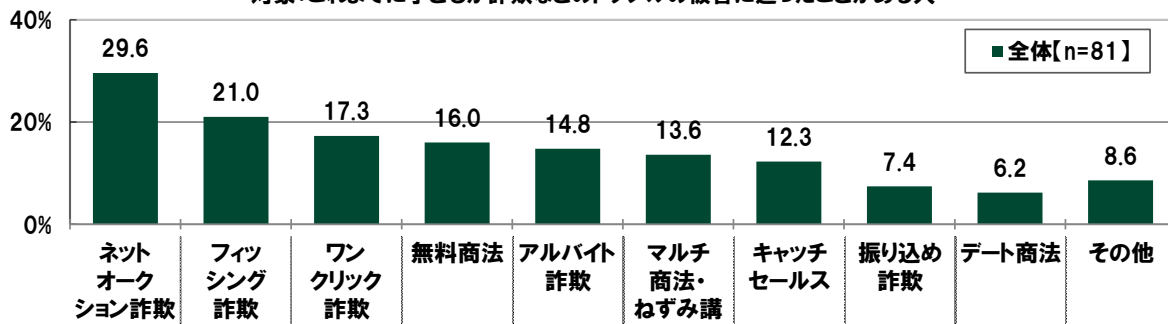
Q.これまでに、子どもが詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがあるか？



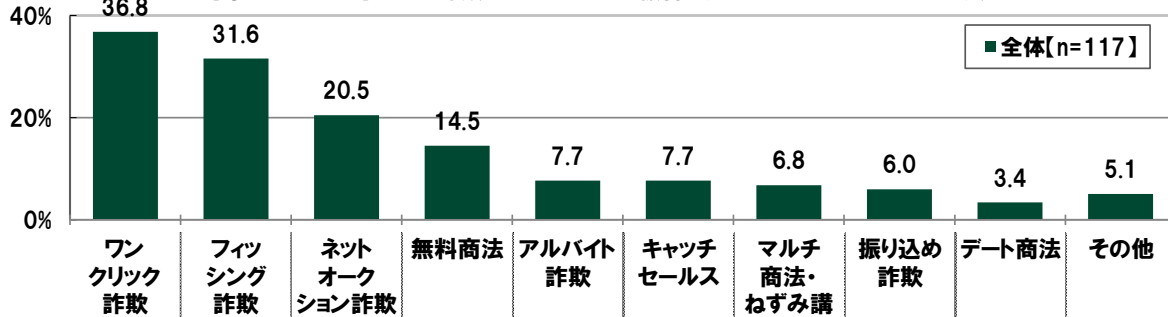
これまでに子どもが詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある人(81名)に、被害に遭ったことがあるトラブルを聞いたところ、「ネットオークション詐欺」(29.6%)が最も高くなりました。ネットオークションを利用している際、購入してから商品が送られてこない経験や写真と異なる状態の商品が届いた経験をした人、商品を送ったにもかかわらず代金が振り込まれない経験をした人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「フィッシング詐欺」(21.0%)、「ワンクリック詐欺」(17.3%)でした。

また、これまでに子どもが詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある人(117名)に、被害に遭いそうになったことがあるトラブルを聞いたところ、「ワンクリック詐欺」(36.8%)が最も高くなり、「フィッシング詐欺」(31.6%)、「ネットオークション詐欺」(20.5%)が続きました。

Q.これまでに子どもが被害に遭ったことがあるトラブルは？(複数回答)
対象:これまでに子どもが詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある人



Q.これまでに子どもが被害に遭いそうになったことがあるトラブルは？(複数回答)
対象:これまでに子どもが詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある人



【子どもの金融行動について】
» 投資や借入れなどの金融行動を子どもが行ってもよいと思う親の割合

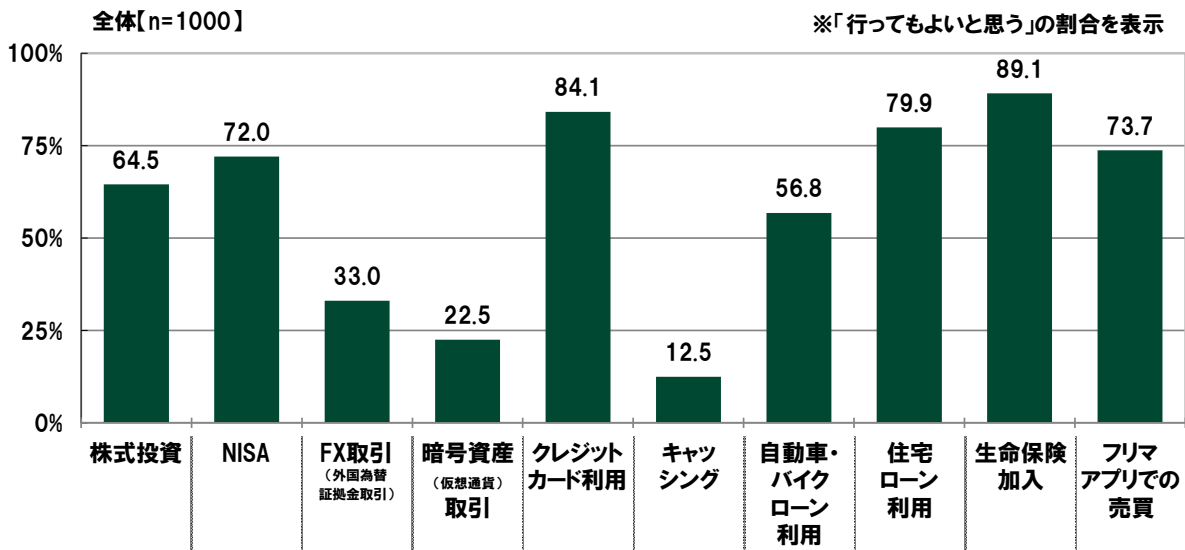
「株式投資」64.5%、「NISA」72.0%、「FX取引」33.0%、「暗号資産取引」22.5%、「クレジットカード利用」84.1%、「キャッシング」12.5%、「自動車・バイクローン利用」56.8%、「住宅ローン利用」79.9%、「生命保険加入」89.1%、「フリマアプリでの売買」73.7%

最後に、全回答者(1,000名)に、投資や借入れといった金融行動を子どもが行うことに対する考えを聞いたところ、「行ってもよいと思う」と回答した人の割合は、【株式投資】では64.5%、【NISA】では72.0%、【FX取引(外国為替証拠金取引)】では33.0%、【暗号資産(仮想通貨)取引】では22.5%となりました。株式投資やNISAを行うことに対しては親の多くが前向きにとらえている一方、FX取引や暗号資産取引といったリスクの高いものに対しては行ってもよいと考えている親は少数派でした。

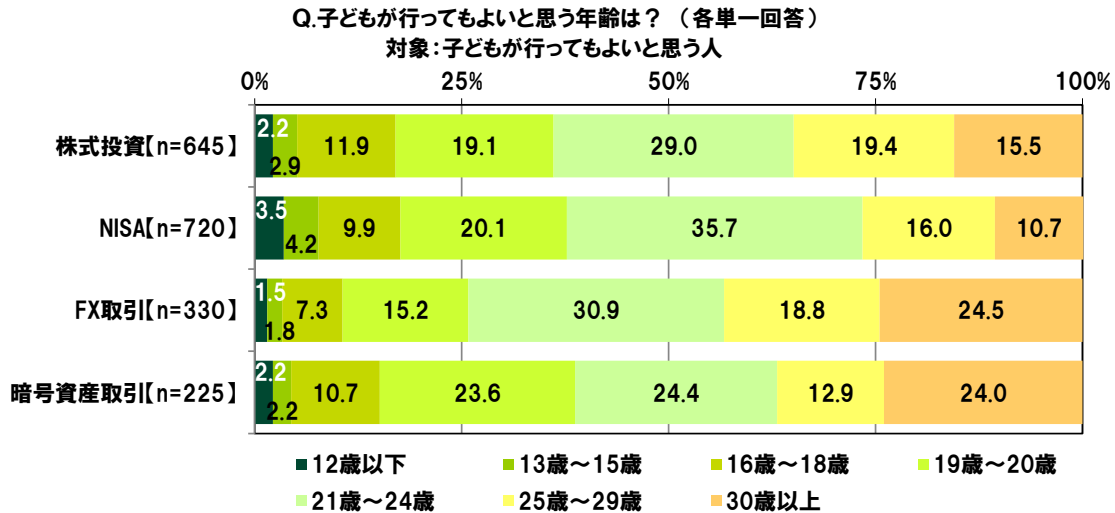
また、【クレジットカード利用】では「行ってもよいと思う」と回答した人の割合は84.1%となりました。

さらに、借入れやローンについては、「行ってもよいと思う」と回答した人の割合は【キャッシング】では12.5%、【自動車・バイクローン利用】では56.8%、【住宅ローン利用】では79.9%となりました。

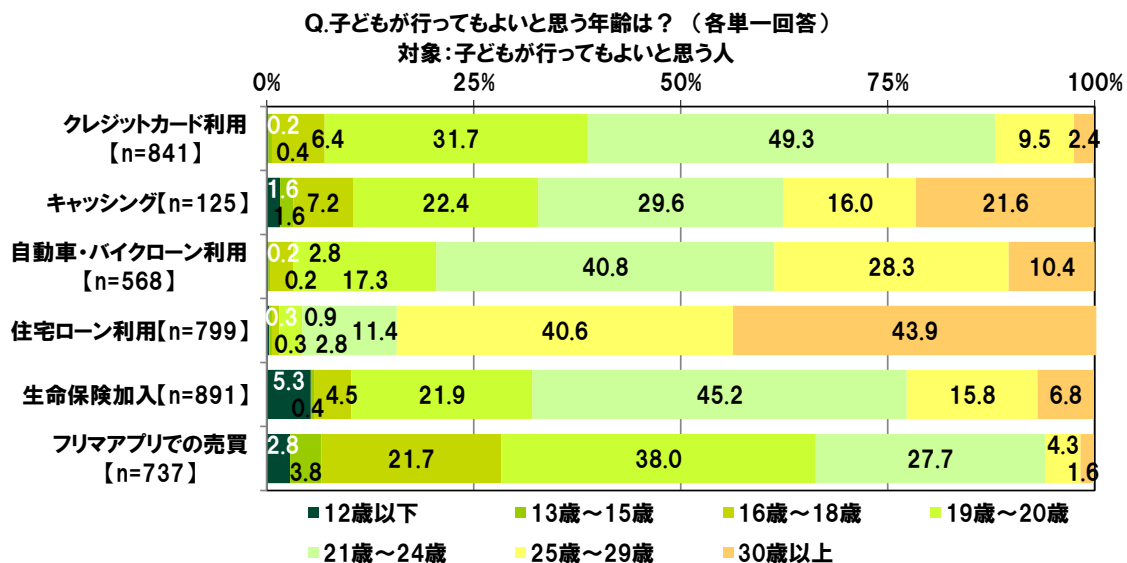
そのほか、【生命保険加入】では「行ってもよいと思う」と回答した人の割合は89.1%、【フリマアプリでの売買】では「行ってもよいと思う」と回答した人の割合は73.7%となりました。

Q.金融行動について、子どもが行ってもよいと思うか？


それぞれの金融行動を子どもが行ってもよいと思う年齢を聞いたところ、投資については【株式投資】【NISA】【FX取引(外国為替証拠金取引)】【暗号資産(仮想通貨)取引】のいずれにおいても「21歳～24歳」(順に29.0%、35.7%、30.9%、24.4%)が最も高くなりました。



投資以外については、【クレジットカード利用】【キャッシング】【自動車・バイクローン利用】【生命保険加入】では「21歳～24歳」(順に49.3%、29.6%、40.8%、45.2%)、【住宅ローン利用】では「30歳以上」(43.9%)、【フリマアプリでの売買】では「19歳～20歳」(38.0%)が最も高くなりました。



《調査概要》

- ◆調査タイトル : 金融リテラシーと家庭の金融教育に関する調査 2023
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
高校生または大学生等(※)の子どもがいる40歳～59歳の男女
※大学生、短大生、専門学校生、浪人生
- ◆調査期間 : 2023年3月14日～15日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 1,000サンプル

(内訳)	男性	女性
	500	500

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本リリースの内容の転載にあたりましては、
「SMBC コンシューマーファイナンス調べ」と付記のうえ、
ご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

SMBC コンシューマーファイナンス株式会社
 担当 : 広報サステナビリティ推進部 岡田、平、有山
 TEL : 03-6887-1274
 Eメール : corporate_info@smbc-cf.com
 受付時間 : 9時00分～17時30分(月～金)

■■会社概要■■

会社名 : SMBC コンシューマーファイナンス株式会社
 (英訳名 SMBC Consumer Finance Co., Ltd.)
 設立 : 1962年(昭和37年)3月20日
 代表者名 : 金子 良平
 所在地 : 東京都江東区豊洲二丁目2番31号
 事業内容 : 貸金業・保証業